

こどもックル増刊・宇都宮の高校生のための情報誌

MIYATEEN

VOL. **1**

高校生に贈る
読書の理由

CONTENTS

宇都宮の高校生の読書状況...1

となりの人は何読んでるの？
高校生意見交換会...3

司書がすすめる
「高校生に読んでほしいこの3冊」...5

『バッテリー』の著者・あさのあつこさんが来る！
子ども読書のまち宇都宮・市民フェア...7

高校生に贈る読書の理由



人はなぜ本を読むのか。本を読む人にとって読書とは何なのか。
宇都宮市で活躍する「本」や「活字」のプロフェッショナルが、
今を生きる高校生に贈る“読書の理由”。



夢の中で私は本を読んでいた。昼間、
姉から薦められた三浦綾子の「塩狩峠」
だった。
翌日だったか数日後だったか今となっ
ては定かでないが、1ページ目をめ
くって仰天した。そこには、夢の中で
読んだ文章がそっくりそのままあった
から。そしてむさぼり読んだ。
高校時代の話だ。良い本というのは、
本当に不思議な力を持っている。
岩村由紀乃 下野新聞社編集局地域報道部部長代理

私は本屋の息子に生まれたものの、
“本を読むこと”が嫌いだった。子ど
もの時は「漫画で良いから読んでくれ」
と父は言った。高校生の時は「勉強が
忙しく読む暇は無い」と私から言っ
た。言い訳だった。読む時間は沢山
有った。今は本を読む。今の私の姿
を父に見せたいものだ。本について
父ともっと語り合いたかった。

落合 均
宇都宮市書店協同組合代表理事
株式会社落合書店代表取締役社長



表紙撮影/山口稔
1・2ページ撮影協力/宇都宮南高等学校

宇都宮市は
「子ども読書のまち」だった!?
宇都宮の高校生の読書状況

宇都宮市では、これまで子どもの
読書離れをなくすことを第一の目標
とし、1歳6ヶ月検診において親子
の読書のきっかけづくりをすすめる
宮つ子ふれあいブック事業や、市図
書館と市立小・中学校図書館を結ぶ
本の物流ネットワークの構築、全市
立小・中学校への図書館司書嘱託員
の配置、地域住民による読み聞かせ
ボランティア等の育成・支援などに
取り組んできた。

その結果、平成20年度における宇
都宮市の小・中学校の1ヶ月の読書
量は、全国に比較して小学生で約1.8
倍、中学生で約1.6倍となっており、図
書館における児童図書の間総貸出
冊数も百四十万冊を超えるなど、全
国でも有数の「子ども読書のまち」と
なっている。

小・中学生、高校生の1ヵ月の読書量



私は数年前、病院に勤務していた。
新しい「生」の誕生と黄泉への「旅立ち」
に触れる毎日であった。「命」の大切
さ、短さを実感した。人間は、生まれ
たその瞬間から「旅立ち」の準備をしな
ければならない。「青春」は人生の登り
坂の貴重な時間である。
すばらしい本との出会いが、人との出
会いが、人生を豊かにしていく。

乙貫良典 栃木県立図書館長

「知りたい」の究極は人間のことだ
と思う。真実と本音で描かれた人
間模様、本物の「人のドラマ」を読
みたい。這いつくばっても目を上
げて生きようとする生き様に出
会ってみたい。落ちて死の淵にい
る人間の心理も見極めたい。時代
や状況に流されないために、他を
認めていくために、本を読み続け
る。

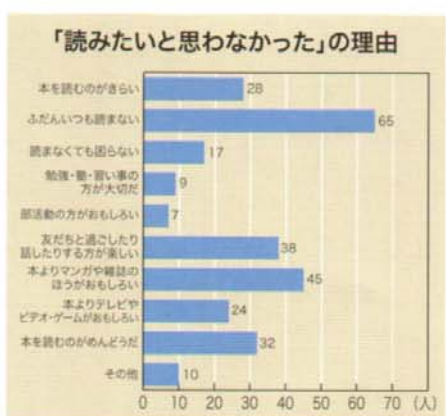
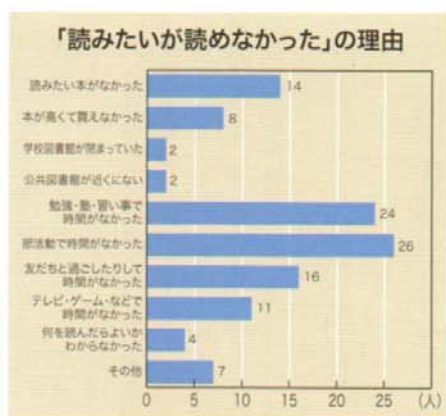
高橋秀雄
宇都宮市在住児童文学者
2009日本児童文学者協会受賞作家



表紙の本／「ムーンパレス」
ポール・オースター著 柴田元幸訳 新潮社
ニューヨークに暮らす「僕」は、唯一の血縁だった叔父
を失う。未来を信じられず人生を捨てかけていた「僕」
は、「欠点だらけだが愛すべき人々」との偶然の出会い
によって、新たな人生のはじまりへ導かれる。

読んでも読まなくても、本はあ
るだけでいい。気が向いたら手を
伸ばそう！ あなたの人生を劇的
に変えるほどのことはなくても、
あなたが落ち込んだときや退屈な
とき、はたまたサイコロを振りた
い気分るとき、振り返ればそこに
誠実な友として待っていてくれるの
だから。

我妻玲子
初代栃木子どもの本連絡会会長
子どもの本専門店「はく」経営（H17）



ところが、高校生になると、1ヶ月に1冊も本を読まない人が約3割に達する（平成20年度宇都宮市内高校生読書アンケート結果より）。本を読めない理由については、勉強や部活などで「時間が無い」との理由が最も多く、忙しい高校生像が浮かんでくるが、一方で、1日の生活時間において、「携帯電話」に1時間以上を費やす高校生が5割を超えている結果も出ている。

また、本を読まない理由として「ふだんいつも読まない」、「読まなくても困らない」など、そもそも本を読もうと思わない高校生の姿も浮き彫りとなっている。

平成20年度宇都宮市内高校生読書アンケートより(回答数538人)

となりの人は
何読んでるの？

高校生意見交換会

読書の時間が減ってきているといわれる高校生。

しかし、中には本を読まずにいられないヒトもいるらしい。

小学生の頃、うつのみやこども賞(※)選定委員だった人など、

宇都宮市内の「自称・本好き」高校生14名が意見交換をしてくれた。

聞き手・協力／宇都宮子どもの本連絡会

読む本を決める
きっかけは？

I 本が好きな友だちがいるんですけど、その人がおもしろいよと言ったら。

B おもしろい本は口コミで広がっていく。読書家の友だちの輪は大切だよ。

J 自分は人にすすめられるのはあまり好きではない。それがおもしろかったりすると悔しくて！ 自分が見つけた本がおもしろいとうれしい。

F 私は好きな作家さんの新刊が出たら買います。それからその作家さんのおすすめ本も片っ端から読む「イモヅル式」読書タイプ。

Y 私はとりあえず母親にすすめられた本を。

K 家族って何かしらつながっているから、選ぶ本も波長が合っているのでは。私も父の経済書やサイエンス本など、自分の趣味とは違っているけど、なんとなくピンと来て読むことがあります。

D 自分はまず話題作を。後は、直感・フィーリングかな。

O 私の場合は、「王様のランチ」で紹介されておもしろそうだなと思ったものを。あとは本屋さんのポップとかも参考にします。

C 私はこれといった目的はなくても、まず本屋や図書館へ行ってみます。そこで表紙・タイトルを見て惹かれたものを買ったり借りたりすることが多いです。

S 太宰治の本を最近ジャンプの作家が表紙を描く、ああ

いうのは自分はまだ好きではないけれど、本を手を取るきっかけにはなると思います。

携帯小説はどう思う？

M 携帯の青空文庫で名作を読んだ。スクロールバーがページをめくる感覚とは何か違って、本を読んでいるという実感や達成感が湧かなかった。

Y 友だちにすすめられて1冊しか読んでいたことが無いのですが、「恋空」はブログみただけで……

O ライトノベルが専用コーナーに置いてあるのに、携帯小説が文学小説と同じ場所にあったりするの、私は疑問。

B 携帯小説というのは、そういう(文章)専門サイトへ行くと、素人でも(作品を)書ける。確かにそのことで質が落ちていくということはあると思うけど、自分を表現したい人にはチャンスのひとつじゃないかと。

K 最近の携帯は、薄くて小



今、友だちにこの本を
すすめたい！

ギフト／ルリグウィン

魔法の力(ギフト)によって民を治める領家に生まれたオレック。一族の中でも強い力を持つオレックが、領家としての制約の中で自分を見つめなおす物語で、思わず引き込まれてしまいます。「ヴォイス」・「パワ―」と続き、読み応えがあります。(作新学院高校2年女子)

池袋ウエストゲートパーク／石田衣良

主人公、真島誠が池袋駅西口周辺で起こる事件を破天荒な方法で解決していくという短編集。ドラマにもなった石田衣良の代表作です。ぜひ一読あれ。(宇都宮女子高校1年女子)

重力ビエロ／伊坂幸太郎

兄の泉水、弟の春、優しい父と母。家族にはある辛い過去があった。その記憶を抱えて兄弟が大人になった時、事件は始まる。連続放火とそれを見つめる謎のグラフィティアートの出現。真相を追う兄が直面する驚愕の真実。感動作です。(宇都宮中央女子高校1年女子)

天帝妖狐／こー

夜木。体が包帯で覆われている謎の男。彼には人と関わることができない秘密があった。……新しい形の恋愛小説。最後の一文に涙する人続出

さいし持ち運びにも便利。携帯小説ものによつてはおもしろいと思うし、嫌いじゃないです。

R 存在自体は否定しないのですが、自分は横書きがどうしても許せない！

O 文芸部に所属しているのですが、携帯小説では心情や情景描写で、「☆」などを使ったりしているのがどうかと。記号に頼ったら負けだと思っているので、私には携帯小説は読めません。

T 携帯小説については、1年前に意見交換した時にも激論になりましたよね。自分も読んだことがなかったけれど、何よりこんな風にいるような意見を交わし合えるというのがいいと思います。

何で自分は本を読むのだろう？

B 昔から読んでいるから：特に理由はなく。

F 私の場合、母が読書好きで、家の中には本がいっぱい。小さな頃から読むのがあります。何で読まないの？って感じ。

J 自分は将来作家になりたいので、できるだけいるいな本を読んで、作家さんの技を盗みたい。

T 楽しむ読書もちろんするけど、例えばネットカフェ難民の問題とかワーキングプア・労働争議とかの本を読んでいて、今すぐには役に立たないかも知れないけれど、損

でもないのではと。とにかくいろいろな知識を得たくて、本を読んでいます。

A 私は女子高で、人間関係とか息が詰まることがある。読書はそんな時のストレス発散！

I 物語など読む時はただ楽しんで。現実逃避もアリ。

成長するにつれ読み方は変わった？

D 中3までは母にすすめられた本。ある時、弟が買ってきた歴史ゲームと一緒にやってみて、登場人物に惹かれ、そこから『三国志』などの歴史物が好きに。

O 家族にすすめられた本を最初は突っぱねていたけれど、読んでみたらおもしろかった。新たな発見があって、読むジャンルが広がりました。

K 私は本を読む時と読まない時があつて。読まない時が私にとっての価値観の切り替えポイントかも。最近ファンタジーだけでなく、ノンフィクション系や評論も読むようになりました。

S 僕の場合は、それまでミステリーなどを読んでいたのが、中3の頃なんだかんたんで、精神的にもいろいろあつて。そこで重松清さんの本を読んでみたら「ウワー」となった。生まれ変わったって感じ。

R 自分も以前は世界観が全く異なる話が好きだった。中2の時、母からすすめられ重



松清の『きみの友だち』を読み、日常的な話や些細な話もおもしろいなと。自分の中でも何か変わったかな？という気がしています。
(中2や中3の頃、自分の本の読み方が変わったという意見多数)

●この後、参加者全員で自分のおすすめ本を紹介しながら歓談。「また集まろう！」と大いに盛り上がりました。

(※)うつのみやこども賞とは

昭和59年より実施している宇都宮市独自の表彰事業。小学校高学年向けの新作児童文学作品を市内の小・中・高3年生の公募選定委員が読み、1年間で最も優れた作品を選定する全国でもめずらしい文学賞。毎年受賞作家を招いて授賞式および講演会を実施している。平成20年度・第25回うつのみやこども賞受賞作品は長谷川光太著「くらげや雑貨店」(ポプラ社)。



です。

同時収録のトイレの落書きから始まる短編小説は、乙一特有の不気味でハラハラさせる文章に病みつきです。

(作新学院高校1年女子)

夜は短し歩けよ乙女／森見登美彦

千有余年の都、京都の町にはいろいろな人が住んでいる。二階建て電車を乗り回す老人に、自在に空飛ぶ「自称」天狗、酒豪の美女に、下着を替えない「阿呆学生」。そんな彼らとともに「乙女」に恋した先輩が春夏秋冬駆け回り続けた一年間の記録。ジャンル分け不要のエンタテインメント大作。

(宇都宮高校1年男子)

熊の場所／舞城王太郎

舞城王太郎の強烈短編集。舞城ワールドの入門書として最適です。「恐怖」「暴力」「愛」をテーマに、ノンストップで踊り続ける舞城と一緒にステップを踏めば、あなたも彼の虜になること間違いなし！

(宇都宮高校1年男子)

春期限定いちごタルト事件／米澤穂信

平凡な小市民を目指す高校生・小嶋君と小佐内さんの日常ミステリ。文体は軽く、きちんと整理されていて頭に入りやすいところがとても良い。ミステリだけど人が死なないので、そういうのが苦手でも読みやすいと思う。

(宇都宮北高校2年男子)

高校生に読んでほしいこの3冊

とにかく泣きたい人に

『塩狩峠』 三浦綾子著 新潮社

真実の愛に貫かれた主人公の生き様が生涯忘れられない一冊になる



結納のため札幌に向った鉄道職員永野信夫の乗った列車が、塩狩峠の頂上にさしかかった時、突然最後尾の客車が離れ、暴走し始めた。乗客たちが恐怖に怯えるなか、信夫は飛びつくようにハンドブレーキに手をかけたが、客車を止めることはできなかった。明治末年、北海道旭川の塩狩峠で、自らの命を犠牲にして大勢の乗客の命を救った一青年の、愛と信仰に貫かれた生涯を描く。

『ナゲキバト』 パークダル著 あすなろ書房

一羽のナゲキバトを撃ってしまった日から、罪を背負う人生が始まった



小さな町で祖父とたった二人で暮らす9歳の私。ナゲキバトを銃で殺した。飼っていた牛を誤って死なせた。自分の行動が犯罪の引き金になった。罪を犯すたびに泣く私を、祖父は大きな心であたたかく包んでくれた。生きていけば必ず罪を犯してしまう。その苦しみを抱えながら生きていくのは大変なこと。深く静かな愛で子どもを導く祖父の生き方が眩しい。

『夏への扉』 ハインライン著 早川書房

幸せを求めて時の扉を開けば、希望に満ちた未来が待っている



1970年のアメリカで、友人と恋人に裏切られた主人公が、30年のコールドスリープの後に目覚める。未来の快適な生活に驚きながらも、過去に残してきたものへの思いは断ち切れない。失ったものを再び取り戻すために戦う姿は、読む人を必ず勇気づけてくれる。1957年に書かれた本作が描く西暦2000年は、家事ロボットが活躍する豊かで幸福な世界だった。

人間関係に悩む人に

『友だち幻想』 菅野仁著 筑摩書房

自分と同じ人間はいないから・・・

他者に寄りかからず他者とつながって生きるには



友だちについて悩んだことのない人はいらるだろうか。「みんな仲良く」という掛け声や「メール即レス」などに息苦しさを覚えることはないか。この本は、必要以上に悩まなくていいと教えてくれると同時に、自分のトレーニング法も教えてくれる。「脅威」でもあり「生」のあじわいでもある「他者」とぶつかりながら親しさを深めていくことは、苦しんだ先に得られる充実した楽しみとなるのだから。

『ナイフ』 重松清著 新潮社

人生の危機に会った時、父は、子はどう決断するのか



「最近中学生の息子真司の様子が少しおかしい。」妻の言葉にも、あいつは俺と違う、強い子だと信じる父だったが、あるとき真司の部屋からいじめの痕跡を見つけてしまう。仕事でも壁に突き当たっている父は息子の大きな危機とどう向き合うのか悩む。たとえヒーローのように戦わなくても、逃げない生き方はあるのだろうか。父と子が挑む、普通の人間の戦い方。

『話し上手聞き上手』 齋藤孝著 筑摩書房

話しベタ・聞きベタの人も、とにかくやってみよう!



「人間関係はそのほとんどが、『話しがうまいか、聞くのがうまいか』で決まってしまう。」こう語る著者が、実際にやっている3日間の授業を本にしたもの。人間関係を上手に構築するには、コミュニケーションの技術が欠かせない。課題を通じて、会話に必要な能力を鍛えよう。読むだけでも人間関係を今までとは違った角度で見ることができるけど、やってみるのが一番。

東図書館

〒321-0968 宇都宮市中今泉3丁目5番1号
TEL (638) 5614 FAX (638) 5791

延床面積5,872㎡(視聴覚ライブラリー含む)。蔵書冊数約38万冊

中高生のためのヤングアダルトコーナーが充実しています。ビジネスや起業・就業に役立つ情報を集めた「ビジネス情報コーナー」には、ビジネス書のほか、職業紹介、資格取得、就職試験や面接の本もあります。



アクセス方法
●関東バス「白楊高校」又は「花蔵院前」下車徒歩15分

市立図書館

〒320-0845 宇都宮市明保野町7番57号
TEL (636) 0231 FAX (639) 0740

延床面積4,739㎡ 蔵書冊数約59万冊

昭和56年に開館した歴史のある図書館で、図書館と学校や生涯学習センターの図書室を結ぶネットワークの拠点でもあります。宇都宮に関する本もそろった調査相談室では、さまざまなレファレンス(調べもの相談)に応じています。



アクセス方法
●東武南宇都宮駅から徒歩10分
●関東バス「文化会館前」下車徒歩3分。「文化会館西口」下車徒歩5分

もっと本のことを知りたいあなた
図書館へ行こう!

図書館は、あらゆるジャンルの本が揃い、雑誌やCD、DVDもある。本棚の間を歩けば、知らなかったたくさんの本が、読んでくれる人を待っている。

宇都宮市には現在4つの図書館があり、それぞれ特色のある蔵書やサービスを展開している。さらに、平成23年度には新たな図書館も開館予定だ。キミもお気に入りの図書館を見つけて、ライブラリアン(司書)とともに読書の扉を開こう!

子ども 読書のまち宇都宮・ 市民フェア

2010年は「国民読書年」
人気作家の話を直接聞けるチャンスを見逃すな!

同時開催
うつのみや人間力向上フォーラム
2010

平成22年
日時 **2/13** 土 開場 11:30~
会場 **栃木県総合文化
センター** メインホール



トークショー 作家 あさのあつこ氏 テーマ「10代のきみたちへ」

プロフィール

岡山県生まれ。青山学院大学在学中から児童文学を書き始める。バッテリー」およびその続編で野間児童文芸賞、日本児童文学者協会賞、小学館児童出版文化賞を受賞。思春期の少年少女の感情をつぶさに表現し、中高生を中心に絶大な人気がある。最近藤沢周平に魅せられ時代小説も書いている。3児の母。

主な著書

「バッテリー」(角川文庫)
「No. 6」(講談社文庫)
「THE MANZAI」(ビュアフル文庫)
「ガールズ・ブルー」(文春文庫)



映画化・ドラマ化も
された話題作!

当日は地元宇都宮の児童文学者・高橋秀雄さんとの「作家と語ろう」コーナーや、小・中学生と高校生による討論会、あさのさんサイン入り著書がもらえる抽選会なども行われる。さらに、歴代うつのみやこども賞受賞作品の展示や、不要になった携帯電話とグッズを交換するケータイリサイクルコーナーなど、企画がいっぱい。友だちを誘って出かけよう!



子ども討論会



高橋秀雄さん

作家になるまでの道のりや、小説の書き方などを伝授してくれます。

(日本児童文学者協会会員
主な著書「やぶ坂に吹く風」「朝霧の立つ川」)

●詳しくは子ども読書のまち宇都宮推進協議会(宇都宮市生涯学習課内) ☎632-2677、または市立図書館 ☎636-0231へ

住めば
愉快だ
宇都宮

そこは、行けば行くほど発見がある街。
ちょっとシャイだけど、オモシロイ人であふれた街。
ビミョーなところが、ゼツミョーに心地よい街。
来て楽しい、食べて楽しい。そして、住めばもっと楽しい街。

宇都宮が大切にしたいこと、それは日々の暮らしの豊かさ。
100年先も宇都宮を訪れる人が、住みたいと思える街になるために、
そんな愛すべき宇都宮らしさを、もっともっと。

こどもックル増刊・

宇都宮の高校生のための情報誌

MIYATEEN

発行 平成22年1月

編集 宇都宮市教育委員会・子ども読書のまち宇都宮推進協議会

発行 うつのみや子ども情報センター

ご意見・お問い合わせ

宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課

〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1-5 TEL632-2677 FAX632-2765

E-mail u4606@city.utsunomiya.tochigi.jp